

令和6年度野生鳥獣（ニホンジカ）生息動態調査業務実施要領

1 目的

本業務は、府における第二種特定鳥獣管理計画の資料とするため、ニホンジカの個体群の動向把握等を行う。

2 実施者

本業務は、府が野生鳥獣調査及び解析能力を有する機関に委託して実施するものとする。

3 履行期間 契約日又は契約日の翌日から令和6年〇月〇〇日まで

4 業務内容

番号	実施項目	内容等
①	生息密度指標調査 (糞塊密度調査)	・ 個体数動向を把握するため、糞塊密度調査を実施する。
②	調査報告書作成	・ 今年度の調査報告を作成する。
③	被害等状況調査	・ 被害防止捕獲（有害捕獲）及び狩猟捕獲の分析 (令和4年度鳥獣統計データ及び出猟カレンダーに基づく分析) ・ 令和4年度農林業被害等のデータ分析

5 調査内容

(1) 糞塊密度調査

① 調査期間

過年度調査結果との整合性を図るため、同時期（4月中旬まで）に実施する。

② 踏査ルートの設置

府内のメッシュのうち38メッシュについて、尾根上に1メッシュあたり4～6kmの踏査ルートを設定し、踏査ルートの左右各1m（計2m）の範囲内の糞塊数を記録する。

調査するメッシュ及び踏査ルートについては、事前に府と協議するものとする。

③ 踏査ルートの区域分け

踏査ルートは、主な地形の変化点（尾根の合流部・小ピーク・鞍部など）や構造物（鉄塔・三角点など）を基点として、300～500m間隔で区切る。

なお、踏査ルート中、シカが利用しにくい場所（林地以外：岩場・林道・広く踏みしめられた登山道）牧草地、果樹園、農耕地及び藪が生い茂って糞の発見が困難と思慮される場所は、調査対象から除外する。

④ 調査項目

区域ごとに、以下の調査項目を記録する。

メッシュ番号	京都府鳥獣保護区等位置図におけるメッシュの番号
区域番号	踏査ルートごとの区域番号（始点からの通し番号）
上層植生 （参考資料）	区域内の上層の植生タイプを林間構成種により分類
下層植生 （参考資料）	踏査範囲内の下層植生状況を以下の3段階に区分 <ul style="list-style-type: none"> ・「極多」 目線より下の下層植生の被覆度が高く限定された範囲のみしか見えない ・「多」 目線よりしたに下層植生はあるが、概ね範囲内が見える ・「小」 目線よりしたには下層植生がほとんどなく、調査に全く支障がない
糞塊数	糞の形状や新鮮度から1回の排泄であると判断される糞粒の集まりを1つの糞塊とし、「10粒以上」又は「10粒未満」で区分して、その糞塊数を記録
新鮮度	糞の外観から、新鮮度を以下の3段階に区分 <ul style="list-style-type: none"> ・「新」 糞の表面が平滑でぬめりや艶があり、退色のないもの ・「旧」 風化や糞虫によって崩壊が始まり、形状が変化しているもの ・「中」 上記の間の新鮮さであるもの

⑤ 調査地点の記録

踏査ルート及び区域を、GISデータとして記録する。

6 報告

受託者は、着手届（第1号様式）及び調査主任届（第2号様式）を契約締結後7日以内に提出し業務を実施するものとする。

また、受託者は、調査結果を集約の上、調査報告書を作成し、業務完了報告書（第3号様式）とともに、令和6年〇月〇〇日（〇）までに提出することとする。

7 提出先

各様式の提出及び報告先は京都府農林水産部農村振興課とする。

(第1号様式)

着 手 届

令和 年 月 日

京都府知事 西脇 隆俊 様

受託者 住 所

名 称

代表者氏名

印

下記のとおり着手したので、提出します。

記

委託業務の名称	令和6年度野生鳥獣（ニホンジカ）生息動態調査業務
着手年月日	令和 年 月 日
履行期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

(第2号様式)

調査主任届

令和 年 月 日

京都府知事 西脇 隆俊 様

受託者 住 所
名 称

代表者氏名

印

下記のとおり調査主任者を定めたので、提出します。

記

委託業務の名称	令和6年度野生鳥獣（ニホンジカ）生息動態調査業務	
調査主任	ふりがな 氏 名	連絡先（電話番号）

(第3号様式)

業務完了報告書

令和 年 月 日

京都府知事 西脇 隆俊 様

受託者 住 所
名 称

代表者氏名

印

下記のとおり業務を完了したので、報告します。

記

委託業務の名称	令和6年度野生鳥獣（ニホンジカ）生息動態調査業務
契約年月日	令和 年 月 日
履行期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで
完了年月日	令和 年 月 日